

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
その他市政全般 ※計画・開発	4年前にアサヒビール跡地のことが問題となっていて、前市長時代に進捗がとまっていたが、現状としてどのような計画になっているのか。市民に情報が途絶えている。	平成31年1月に県市で統合新病院をアサヒビール西宮工場跡地に整備することで正式合意しました。 今年度には ・新病院の基本的方針、診療機能・規模・体制 ・中央病院の機能継承の考え方 ・建物整備計画、スケジュール ・現病院の跡地利用 など、新病院の概要を示した「統合再編基本計画（案）」を取りまとめ、パブリックコメントを実施しました。今年度中にはいただいたご意見を踏まえて確定版の基本計画を公表予定としています。	神原公民館
その他市政全般 ※行政	西宮市は他の自治体と廃棄物や上下水道で広域化するところはあるのか。	【ごみ処理施設】 本市では西部総合処理センターのごみ処理施設の更新にあたり環境省の指針に基づき、平成29年度から近隣の芦屋市とごみの広域処理の可能性について検討を行っています。現在、もやごみの処理施設の広域処理に絞って協議を行っています。 【上水道】 本市の水道水は、南部地域は神戸市、尼崎市、芦屋市、宝塚市に水道用水を供給している阪神水道企業団、北部地域は県内に水道用水を供給している兵庫県営水道からの受水が大部分を占めています。 したがってこの部分においては、既に広域化が成されている状況です。 今後につきましては、現状の枠組みの中で事業経営の最適化について近隣各市と阪神水道企業団で研究を進めているところです。 【下水道】 市内の3つの処理区域のうち、武庫川上流処理区、武庫川下流処理区については流域下水道事業にて広域的に汚水処理を行っています。 また、本市単独で汚水処理をしている西宮処理区については、現状3カ所ある浄化センターを将来的に2カ所に集約するなど、効率的な施設整備について検討を進めているところです。 なお、下水処理により発生する汚泥については、兵庫東下水汚泥広域処理事業にて広域的に処理を行っています。	神原公民館
その他市政全般 ※施設	現在、第二庁舎の建設を進めていると思うが、太陽光などの再生可能エネルギーで電力をまかなうことや雨水を貯めてトイレの浄水に利用することなどは考えているか。	第二庁舎については防災・危機管理の中核拠点という施設の特性を踏まえ、平常時の節電・省エネと、災害時の業務継続を両立するために最小のエネルギーで高度な機能を発揮できる庁舎づくりを目指しています。太陽光発電や雨水貯留は設計段階での比較検討の結果、採用にはいたりませんが、廃熱エネルギーの再利用や建物の高断熱化による空調負荷の抑制等を図ることで、省エネルギーに配慮した施設計画としています。	神原公民館
その他市政全般 ※行政	全国で水道管の老朽化が言われており、市の水道でも水道料金に施設料が入っていて水道管、下水道管の入れ替えをしていると思う。福祉や教育などもあるので市も予算はないかもしれないが、生活に関わる必要なものなので、水道にもお金を投入して修繕を考えてほしい。	【上水道】 老朽化した水道施設の更新や修繕については、水道使用料を財源に順次実施しております。なお、水道料金は、水道施設の更新等の費用も見込んで使用者の皆様からいただいているため、それらの費用に対しては、一般会計（市税）からの繰出しは行っておりません。市民の皆様が安全安心な水を供給するために、引き続き水道施設の維持管理に努めてまいります。 【下水道】 下水道施設の更新や修繕については、一般会計からの繰出し基準が定められており、雨水等に関する経費は、一般会計からの繰出し金を財源とし、汚水等に係る経費等は、下水道使用料を財源として実施しております。 また、下水道の改築更新費の一部については、国からの交付金を充当しております。引き続き安全安心な市民生活となるよう、下水道施設の維持管理に努めてまいります。	神原公民館
その他市政全般 ※行政	官製談合や学校での盗撮、また最近では中央病院職員の万引き事件と色々責任問題が取り沙汰されているがどのように考えているか。	公共工事の不正行為に係る再発防止に向けた対策の取りまとめや盗撮・万引きなどの不祥事について再発防止の周知徹底を行ったほか、公金処理の事務処理適正化に向けた緊急点検や職員の意識調査など、全庁を挙げた取り組みを継続的かつ繰り返し実施してまいります。 また、今後は毎年度の人事評価面談時に不祥事防止のチェックポイントを職員間で確認するなど、日常的な取り組みを進め、再発防止に努めます。	神原公民館
その他市政全般 ※まちづくり・住まいの環境	土地に関して、近年、家がどんどん小さくなってきている。土地が細分化されていくと、例えば、ごみ行政にしても色々問題が出てくると思う。人口が増えたいというわけではなく、「住みたいまち」を持続していくよう望む。	「開発事業等におけるまちづくりに関する条例」では、建築物の最低敷地面積を用途地域の区分ごとに定め土地の細分化の抑制に努めています。また、敷地境界から建築物までの距離の確保など、良好な住環境を保全するとともに周辺環境に配慮した快適なまちなみを形成する基準を設けております。	神原公民館
その他市政全般 ※計画・開発	病院統合の現状や、その他の公共事業で何か大きなプロジェクトはあるのかについて聞きたい。	病院統合については、平成31年1月に県市で統合新病院をアサヒビール西宮工場跡地に整備することで正式合意しました。今年度には県市で新病院の姿などを示す「県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画（案）」を取りまとめ、令和元年12月から翌1月にかけてパブリックコメントを実施し、県民・市民の意見を伺ったところです。今年度中にはいただいたご意見を踏まえて確定した基本計画を公表予定としています。 また、中間報告の段階ではありますが、先般、阪神西宮駅北側エリアを含む市役所本庁舎周辺を再生する長期ビジョンと公共施設の再整備構想（素案）を公表しました。 引き続き関係事業者等と協議をしながら、まちづくりと連動したアミティホールの建替更新をはじめ、庁舎機能の集約化や複合化を進めるほか、駅前立地を活かした公民連携による賑わいづくりや居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を目指すなど、市民に開かれたシビックセンターとしての新たな魅力の創出と価値の創造に取り組んでまいります。	今津公民館

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
その他市政全般 ※健康・福祉・雇用	10年後の介護対策について、保険料も含めて分かる範囲で聞きたい。	2030年の人口は65歳未満人口が6.6%減少に対し、65歳以上人口が9.3%増加と推計されており、中長期的な介護需要は増加し続けます。その対策として医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の深化・推進が喫緊の課題となっています。地域包括ケアシステムの深化・推進のために西宮市高齢者福祉計画・西宮市介護保険事業計画において7つの基本目標を設定し、すべての高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせるまちの実現に向けた施策を展開しています。また、介護保険料につきましては当市で2030年を算出したものではありませんが、2018年度の全国平均保険料が約5,900円/月であるところ、2040年には9,200円/月なる（※）との試算もありますので、より一層、効率的・効果的な介護対策を行ってまいります。 ※平成30年度第28回社会保障審議会（H31.2.1）資料2「今後の社会保障改革について―2040年を見据えて―より）。	今津公民館
その他市政全般 ※まちづくり・住まいの環境	近所で野良ネコが増えているが、どうすれば良いか教えて欲しい。	現在の法等の枠組みの中で最も有効な手段とされている野良猫対策としては、野良猫への不妊去勢手術を行う活動とされており、市では、地域合意の上でこの活動を行う方に手術費用の一部を助成する制度を実施しておりますので、動物管理センターへご相談ください。	今津公民館
その他市政全般 ※道路	名神湾岸連絡線の計画は中止・保留・決行のうちどれなのか。	名神湾岸連絡線については、現在、都市計画の手続きを進めているところです。既に事業着手している「大阪湾岸道路西伸部」の六甲アイランド北から神戸市兵庫区駒栄までの区間が完成すれば、多くの交通が阪神高速3号神戸線から5号湾岸線に転換し、その際、名神湾岸連絡線が整備されていなければ、本市の内陸部と臨海部を結ぶ「札幌筋線」「今津東線」「小曾根線」などの交通量も増加すると予測しています。そのため、名神湾岸連絡線を整備することにより、それら路線の交通の一部が名神湾岸連絡線に転換され交通量が現況より減少し、沿道環境の改善及び交通安全性の向上が見込まれることから、市としては、「大阪湾岸道路西伸部」に運れることなく名神湾岸連絡線を整備の必要があると考えております。	今津公民館
その他市政全般 ※道路	香爐園市民センター前に横断歩道を設置してほしい。地域住民としてできることがあれば教えて欲しい。この前小学生が事故にあい、顔に傷が残るけがをした。	信号機や横断歩道の設置につきましては警察の所管であり、兵庫県警察本部において、地域の自治会のご意見や道路の交通状況、事故発生状況などを勘案し、総合的に判断して設置することとなっております。市は香爐園地区団体連絡協議会から横断歩道設置等のご要望を受けて、西宮警察署へ要望書や交通量の資料を提出しており、今後、兵庫県警察本部において横断歩道等の設置について検討していただけることとなっております。こうしたご要望に加え、地域としての個別の声がございましたら、引き続き市から西宮警察署へ要望してまいります。	今津公民館
その他市政全般 ※防災・防犯	最新の市政ニュースをみると、防犯カメラ300台設置と書いてあり、一段落ついたような印象を受けたが、最近では犯罪が多く防犯カメラに頼るところは大きい。新たな設置についてはどうか。	平成29年度（2017年度）から実施している防犯カメラ設置事業は、主に街頭犯罪に対する防犯効果を期待するとともに、地域防犯活動を補完し支援することを目的としています。平成29年度（2017年度）各小学校区で開催した設置場所検討会にて地域からいただいた要望をもとに警察と協議のうえ設置場所を決定し、平成29年度（2017年度）からの3年間で市内全域合計300台を順次設置しますが、今後については、まず令和2年度中に効果検証を行ったうえで方針を決定する予定となっております。	上甲子園公民館
その他市政全般 ※景観・環境	景観の問題で、ごみプレートもグレーになったし、今後飛び出し注意といった看板もグレーでシックなものに変わると聞いているが、そういうものは目立たないと困る。景観に溶け込むのでは困る。あいさつ運動の横断幕も内向きに付けてと言われる。子どもを地域で大事にしたい。景観より子どもの命が大事。危ない所には目立つものを付けさせてほしい。	“飛び出し注意”等の交通安全に係る公共サインについては、現在の標準デザインよりも目につきやすいものとなるよう、改善が必要であると考え、土木局と共に検討をしています。あいさつ運動に係る啓発運動については、効果的な場所に掲示板を設置し、その中で啓発運動をしていただければいかがかと提案させていただいているところです。	上甲子園公民館
その他市政全般 ※コミュニティ・交流	自治会設置の掲示板に、雨風を凌げるカバーなどを敷設してほしい。選挙ポスターや公民館推進員関連、防犯関連など市から自治会に周知依頼が来るものが多い。それを自治会設置の掲示板にスペースを割いて貼っているの、せめて雨風を凌げるようにしてほしい。	自治会設置の掲示板は各自治会の所有となりますので、維持管理・補修・整備等については各自治会で行っていただくこととなります。ご理解いただきますようお願いいたします。	上甲子園公民館
その他市政全般 ※行政	祝日に市政報告・広聴会を開くのはおかし。祝日には行事をしないようにしてほしい。教育委員会の学校行事も祝日はやめてほしい。	市政報告・広聴会の実施日に対するご意見につきましては、今後の参考といたします。また、学校行事につきましては、成長の様子を家庭や地域の方にご覧いただき、喜んでいただいたり褒めていただくことは、子供達の励みや成長を一層促すこととなります。そうしたねらいから、土日祝日を利用して参観いただけるよう一部の行事を計画的に実施しています。ご理解のほどをお願いいたします。	鳴尾中央センター
その他市政全般 ※行政	西宮市は住みよいまち全国2位になっていた。誇りにしたら良いと思う。芦屋は9位、神戸は17位である。西宮市の教育や治安、交通利便性、小児科・産科の数などもっと宣伝すべきである。	引き続き文教住宅都市として魅力あるまちづくりに取り組み、本市の地勢も含めた特性について、市政ニュースやSNS(Twitter・Facebook・LINE)などを活用して、市内外への情報発信に積極的に取り組んでまいります。	鳴尾中央センター
その他市政全般 ※行政	令和元年9月と11月を比較すると、西宮市全体では人口が減っているが、人口減少対策の施策はあるか。	人口減少対策については、大阪圏への転入者の取り合いを近隣市と競うのではなく、日本の一自治体として、全体の人口が増える方向で進めなければならないと考えています。本市としては、希望する人数の子供を躊躇せず育てる環境を整え、安心して子育て出来ることを理想とし、婚姻や出産などが自分に合ったタイミングで実現することができるよう、婚姻から妊娠、出産、育児、進学と続くそれぞれのライフステージで切れ目のない支援を行っていくことが望ましいと考えています。そのために、現在、本市の地理的条件や転出入の傾向、住宅事情、保育や教育の状況、特性も勘案しながら、どのような施策が必要なのか検討を行っています。	鳴尾中央センター
その他市政全般 ※行政	鳴尾に新しく300戸程度の住宅ができる計画があるので、鳴尾は人口が増える。鳴尾の人口対策として、新しく移り住む人に対して下水道使用料を安くしてもらえないか。	下水道使用料は下水道法第20条に基づき、下水の水量、水質等に応じて妥当に定められるものであり、公平性の観点から、市内同一の使用料体系としています。全市的な人口減少対策については、現在、本市の地理的条件や転出入の傾向、住宅事情、保育や教育の状況、特性も勘案しながら、どのような施策が必要なのか検討を行っています。	鳴尾中央センター

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものです。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
その他市政全般 ※行政	婚姻届の用紙を工夫することや、西宮市も新婚世帯を招き入れる施策などはできないか。	市民の婚姻を祝う取組として、官民協働発行事業によりオリジナル婚姻届を作成し、平成30年6月より配布を開始いたしました。 今後、本市における新婚世帯に向けた取組につきましては、有効な施策となり得るのか他の自治体の事例とあわせながら研究してまいります。	鳴尾中央センター
その他市政全般 ※防災・防犯	台風19号で甚大な被害が出たが、台風19号が西宮に上陸していたらどんな災害になっていたかを分析しているか。	分析は行っておりませんが、令和元年5月に市内の全戸配布を行った防災マップには、武庫川、有馬川の想定最大規模降雨(1000年に一度以上の確率想定)の洪水浸水想定区域図を掲載し、併せて土砂災害警戒区域についても掲載しております。 市では、防災マップや市民対象の出前講座等を通じて、災害情報の取得、避難方法や備蓄等について啓発を行い、市民に日頃から災害に備えて頂くように啓発しております。 また、昨年の台風21号での市内大規模停電や、今年の台風19号での関東地方の長期間停電を受け、早期復旧に向けた電力事業者との協議や本市の備蓄計画に基づき、各避難所を対象としたポータブル発電機の備蓄を進めるとともに、民間業者との停電時における災害時応援協定締結の検討を進めております。 今後も、災害時にはテレビ、ラジオ、HPやしのみや防災ネット等の様々なツールを用いて、速やかな情報発信に努めてまいります。	鳴尾中央センター
その他市政全般 ※交通	石井市長は選挙公約で「コミュニティバス導入」や「公共交通」を挙げていた。前市長も挙げていたが、全然進まなかった。第5次総合計画も見したが、具体的に見えてこない。コミュニティバスについてどのように取り組んでいくのか。	コミュニティ交通の運行を実現し継続していくためには、生瀬地区などの事例から、地域が主体となった取組みが必要と考えており、市では、「検討体制づくり」や「試験運行」から「本格運行」に至る地域の取組みの熟度に応じて、段階的に必要な支援を行うこととしております。現在、名塩地区、山口地区、苦楽園地区などで取組みが進められており、市も支援を行っております。今後も、コミュニティ交通について関心の高い地域を中心に、取組みのきっかけづくりなど、検討の段階から、丁寧な支援を行ってまいります。	甲東センター
その他市政全般 ※交通	公共交通の問題箇所を具体的に言うと、中津浜線の仁川から171号線まではバスが通っていない。また、北段上線にもバスがない。この辺りに住んでいる方は不便を感じている。都市計画の絡みもあると思うが、この地域について将来どう考えているのか。	段上・樋ノ口地区につきましては、公共交通の利便性が低い地域であることを認識しております。現在、民間のバス事業に関しては、事業採算性や運転士不足など難しい問題もございますが、車の運転できない高齢者等の外出支援が求められることもあり、当該地区のバス路線網について、今後の道路整備状況等も踏まえながら、バス事業者及び関係機関と協議してまいります。	甲東センター
その他市政全般 ※交通	最近、自転車マナーの悪い人が多い。食品を自転車で宅配するなどのアルバイトが増えている。歩道を歩いていると、時速30～40キロで抜かれるので怖い。免許制までいかなくとも、道路交通法の講習のようなものを設けたほうが良いのではないか。	市では、自転車の交通ルールの遵守等を目的とした自転車安全教室を警察と協力して実施しております。また、自転車安全利用について、市のホームページへの掲載や市内主要駅前等にてキャンペーンを行っております。今後もこのような取組の充実に努めてまいります。 なお、平成27年6月から改正道路交通法が施行され自転車の運転に関して、危険なルール違反を繰り返すと、公安委員会から「自転車運転者講習」の受講を命ぜられます。	甲東センター
その他市政全般 ※教育	山口センター横の幼稚園や住宅地内にある北六甲台小学校には送迎のための車がたくさん来ている。北部地域のみ義務教育の間だけでも、スクールバスを出せば個々に送迎するよりも効率が良くなり、エネルギー的な観点からも良いのではないかと思う。昨今は子供の誘拐事件などもあり、子供たちの安心安全からも何とか北部地域ではスクールバス導入を考えてほしい。	スクールバス導入の目的は、主としてへき地における通学支援のためです。本市においては、遠距離通学の必要な児童生徒に対して、バス事業者との協議により公共交通機関での通学方法を確保でき、交通費の補助制度も実施していることから、スクールバスの導入は検討しておりません。今後も通学方法の維持のために教育委員会としてもバス事業者と協議を重ねるとともに、児童生徒の安全な通学のために、学校、地域と情報を共有し、必要な対策を検討してまいります。	山口公民館
その他市政全般 ※教育	船坂に住んでいると、子どもが小学校に行くためにバスを使わなければならない。船坂に住んでいて小さい子供がいる方は、交通の面で子どもが小学生になるころには皆交通の便の良いところへの引っ越しを考えられるようだ。実際、そういった現実があることを少しでも分かってもらえればと思う。	今後も通学方法の維持のために教育委員会としてもバス事業者と協議を重ねるとともに、児童生徒の安全な通学のために、学校、地域と情報を共有し、必要な対策を検討してまいります。	山口公民館
その他市政全般 ※その他	有馬川から取水する水路が老朽化しているのを、今後その対策に取り組んでほしい。	農業水路の維持管理につきましては、各水利関係の方々に行っていただいておりますが、市としても、補修等の要望があった箇所につきましては、緊急性・公共性・行政介入の必要性などを考慮し補修等を行っているところです。今後も引き続き、水利関係者と協議し、営農基盤の安定に資するよう努めてまいります。	山口公民館
その他市政全般 ※道路	山口地域でのどのような都市計画（道路）が進んでいるのか教えて欲しい。	都市計画道路丸山線は、昭和46年に都市計画決定され、国道176号から有馬川の間は、土地区画整理事業により既に整備されています。残りの有馬川から山口南幹線までの間（L=290m）については、未整備のまま今日に至っています。 市としては、この「丸山線」の残り区間を整備することにより、国道176号沿いの地域と西宮南部方面や、神戸市岡場方面との移動の円滑化が図られバス路線等の強化などにも寄与するものと考えており、北部地域において、国道176号の整備とともに進めるべき事業として、西宮市道路整備プログラムにも位置付けています。ただし、この区間の「丸山線」を道路に必要な用地のみを買収して整備すると、地形上、道路が周辺の地盤より最大2.6m高くなることから、沿道の土地利用に大きな支障が生じ、地域の分断にもつながることとなります。 このような事態を避け、沿道の土地利用を可能とするには、土地区画整理事業によって周辺地域を一体的に整備することが望ましいと考えており、道路周辺で新たな土地が造成されることにより、山口地域全体の活性化にもつながる土地利用が期待できるものと考えております。 昨年12月に丸山線を含む区域一帯でまちづくりの進め方を検討するための土地所有者の方にアンケート調査を行っており、集計後必要に応じて、関係者等への説明会を実施してまいります。今後も、地元のご理解とご協力を得たうえで、丸山線の整備を推進してまいりたいと考えております。	山口公民館
その他市政全般 ※まちづくり・住まいの環境	農地は水害から守るために必要であり、災害対策に有効に活用できる。保全していかなければいけないと思う。	農地は、食糧生産だけではなく、防災空間、水源かん養、環境保全、都市景観形成など様々な役割を担っております。市としても、農地の災害対策等への活用を検討するなど、農地を都市部に欠かせない緑地空間として、引き続き保全に努めてまいります。	山口公民館

令和元年度秋期 市政報告・広聴会（S.N.Sミーティング）意見・要望事項と対応

※会場が「その他」となっている項目につきましては、開催後に参加者から別途いただいたご意見等を指しています。

※対応方針はご意見をいただいた時点のものであります。また、掲載にあたっては内容を要約しています。

要望項目	要望要旨	対応方針（回答）	会場
その他市政全般 ※行政	今まで「市長への手紙」を何回か送っているが、市長に届いていないのではないかと思った。回答が所管課からあったが、その答えが面白くない。皆がなるほどと思うような回答が欲しい。市長にメールをしても変わらない。そういう市なのかと思ってしまう。	いただきました「市民の声（市長への手紙）」につきましては市長が拝見しますが、回答については市の見解として担当課よりさせていただくことになっております。	山口公民館
その他市政全般 ※施設	山口ホール使用料の減免について、減免を受けられる団体と受けられない団体がある。市の担当者に聞くと、公共性の有無で判断しているとのことである。老人会で申請すると減免が受けられるが、私事でない公民館の地域学習推進員で受けられないというのは不思議である。	市民ホールにおいては、指定管理者の自主事業で市が共催するものを除き、公用であっても使用料の減免は行っていませんが、山口ホールについてのみ、多人数の利用等により公民館の集会室等を利用できない場合につきましては、地域団体が公益を目的とする事業で使用する場合に、使用料を免除しています。なお、地域学習推進員会は市と委託契約を結び、市の事業として実施されているものであり、推進員会単独の講座につきましては減免対象ではございません。	山口公民館
その他市政全般 ※その他	生瀬の水路について、昔は生活用水や農業に使用していたが、農業をやる人が少なくなった。維持管理について、生瀬自治会では経済的にも人的にも負担が大きい。水路の維持管理について、一定、西宮市で援助してもらいたい。	生瀬水路につきましては以前から貴自治会等からの要望があれば、補修を行っております。本市といたしましても継続的な維持補修に努めてまいります。今後の生瀬水路全体の管理のあり方についても、貴自治会とご相談させていただきたいと思っております。	塩瀬公民館
その他市政全般 ※行政	住んでみたい街で上位に選ばれ、誇りに思う。ただ、市のホームページを見てみると北部問題は存在する。災害は南部・北部ともにあるが、医療や行政機能などについては南北で差がある。市長が北部地域において、予算が少なくとも「これを優先的にやらなければならない」と考えていることをお聞かせ願いたい。	本市は、南北に広く、地域ごとに特徴があり、解決すべき課題にも違いがあると認識しています。令和元年度を計画の初年度とする第5次西宮市総合計画の策定過程において、地域ごとに広聴会等を開催し、住民の皆さん同士の議論を通じて取り組むべき課題や方向性を検討しました。それらを踏まえ、行政としての地域ごとの課題認識と現時点で予定している取組については、「地域別アウトライン」として取りまとめているのでご覧いただけますようお願いいたします。 (参考) 地域別アウトライン URL: https://www.nishi.or.jp/shisei/sogokeikaku/sogokeikaku/dai5jisougoukeika/ku.files/5jisou_tuikibetsu.pdf	塩瀬公民館
その他市政全般 ※健康・福祉・雇用	北部の住民は、西宮市より宝塚市や神戸市の病院に行く。入院する際には宝塚市の市民病院は市民ではないため高くなる。かといって西宮の南部まで行くのは高齢化もありなかなか難しい。また、集団健診やインフルエンザ予防接種もそうである。インフルエンザ予防接種も西宮市内の病院であれば補助があるが、宝塚市ではない。北部地域では割と宝塚市の個人病院も使っている。補助は割と大きいため、そういうところを少し考えてほしい。	本市では、65歳以上等が対象となる高齢者インフルエンザ定期予防接種など予防接種法に基づく定期予防接種については、阪神7市1町相互乗り入れや兵庫県広域予防接種事業により県内委託医療機関であれば市内と同条件で接種できる体制を整えているほか、がん検診については、北部地区には産婦人科等で実施する女性特有のがん検診を実施できる医療機関がないことから、神戸市と宝塚市の一部医療機関でも受診できるよう、医療・検診体制の強化を図ってまいりました。それを利用いただいた場合は、西宮市の市民でも同じ料金でお受けいただくことができます。	塩瀬公民館
その他市政全般 ※その他	名塩には簡易郵便局が2カ所あったが、現在は東山台の1カ所だけになった。名塩からは車で行かなければならなくなったが、駐車場が2台分しかない。駐車場の確保についてどう考えるか。また、郵便ポストも少ない。どんどん高齢化しているが、高齢者でも出せる家から20分くらいのところにはポストが欲しい。仮にポストを増設する場合、市でサポートしてもらえるか。	駐車場の件につきましては西宮東山台郵便局に、またポスト設置の件につきましては管轄する宝塚郵便局にいただいたご要望をお伝えいたしました。	塩瀬公民館
その他市政全般 ※その他	市政報告・広聴会の参加者の年齢層が偏っていて「西宮や日本の将来を担う若い人」の意見をどう吸い上げるかが課題だと思った。参考例として四日市市が行っている高校生を対象とした地球環境塾などは一つの手段かもしれない。四日市の高校生と姉妹都市である米国のロングビーチ市、中国の天津市の高校生が一週間の合宿形式でたとえば「ゴミ」を課題として参考になる施設の見学や該当課題に知見のある識者の講義を聞き、課題の解決策案を最終日に四日市市民及び市役所の幹部の方に発表するものである。グローバルな視点で行政が評価され、グローバルな視点を持った若者の育成にも役立つ。	市政報告・広聴会につきましては、手法やテーマを毎回検討し実施しておりますが、今後も他市の事例等も参考にしながら様々な媒体での広報や実施手法について検討し、様々な世代の方に参加していただけるよう努めてまいります。また、「みんなと考えたい『ごみ』と『エネルギー』」と題して実施した今回につきましては、市長による出前授業として市立中学校3校（2年生対象：1校、3年生対象：2校）と市立高校1校（1年生対象）でも実施しております。	その他
その他市政全般 ※施設	図書館の雑誌に「日経グローバル」を取り入れてほしい。	雑誌の選定については、分野ごとのバランスや現在購入している雑誌の利用状況などを考慮し決定しております。この度いただきましたご要望は、次回購入雑誌選定時の検討材料とさせていただきます。	その他
その他市政全般 ※景観・環境	西宮東高校での木曜講座で、先住している在来種の蟻がいる場所には、ヒアリの女王は入り込まず、定着しにくいとの話を伺った。蟻を見ただけで殺虫剤を撒く人がいるが、在来種の蟻は大切にできるように広く呼び掛けるはどうかと思う。検討してほしい。	ご意見のとおり、生物多様性保全の観点から、蟻を含めた生き物（在来種）を守るための啓発に努めます。	その他